

Title	野口祐教授退任記念号にあたって(野口祐教授退任記念号)
Sub Title	(In Honour of Professor Tasuku Noguchi)
Author	藤井, 彌太郎
Publisher	
Publication year	1992
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.35, No.1 (1992. 4) ,p.i- ii
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-19920425-04056131">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-19920425-04056131</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 野口祐教授退任記念号にあたって

毎年、学年末の時期がくると、定年により慶應義塾を去られる先生方をお送りせねばならぬことになる。今年もその季節がやってきて、野口祐教授が定年を迎えられた。

野口祐教授は、昭和25年に慶應義塾大学経済学部を卒業された。翌年、経済学部の副手に採用されたということだが、いまではこの副手という無給の制度を知る人も少なくなってしまった。その後、経済学部助手を経て、昭和33年商学部創立の直後に商学部助教授に、そして39年に教授に進まれた。商学部の創立以来のメンバーといえるわけで、学部とともに歩まれ、学部を育てていただいた。昨年の秋には、慶應義塾勤続40年を表彰されておられる。

その間、専門の経営学において多くの著書と論文を世に問い、斯学の発展に大きな寄与をされた。とくに、昭和40年には、著書「現代企業集中論」により義塾賞を受けられ、翌年には経済学博士号を得ておられる。教授の研究は、最近に限っても、多国籍企業論、ハイテク論、ソフト経営学など、常に時代を先取りする精神をもって新分野を開拓してこられた。また、研究教育行政の面でも、日本学術会議の会員に選出され、わが国の学術振興に尽力されている。

活躍の舞台も国際的で、ベルリン自由大学、パリ大学の客員教授などをつとめられた。現在、国際経営学会において会長に推挙され、来年にはわが国で大会を開催するため御苦勞の最中にある。

また、授業とゼミを通じて、多くの有為な学生を社会に送り出されるとともに、多数の研究者を育てられたことも特筆されることである。それらの後継者は、商学部をはじめ各大学にわたり大きな学問上の人脈をなしている。一説によると、大学関係者だけでも50人からの人数だといわれる。もちろんこれには、経営学という分野、慶應義塾という土壤によるところもあろうが、なにより野口教授の学識の広さ、前向きな研究姿勢、包容力のある人柄の然らしむるところであろう。

個人的なことをいうと、私の専門は交通論で教授とは専攻が異なるが、これまで親しく助言をいただいていた。また、もう20年以上も前になるが、野口教授が慶應義塾労働組合の三田支部委員長に推されたことがあり、その当時まだ助手であった私が教授に説得されて副委員長をつとめたこともあった。そのとき以来、野口教授はいささか性急なところがおありだと知ったが、それにもかかわらず人から苦笑ですまされるところが教授の人徳というよりほかはない。栃木なまりのまじった独特の名調子をうかがえなくなるのは、まことに寂しいかぎりである。

慶應義塾大学を退職された後は、新たな環境で研究と教育を続けられるとうかがっている。御研

究の一層の進展と御健勝を心より祈念し、『三田商学研究』の一巻を野口祐教授記念号として捧げて、われわれの感謝と敬愛の標といたしたい。

商学部長 藤 井 弥太郎